



『大学教授との座談会』

校長 福田 雅子

去る11月15日(金)、岡 幸江准教授(九州大学)、山城 千秋教授(熊本大学)、恒吉 紀寿准教授(北九州市立大学)、溝内 亮佑さん(九州大学 大学院生)による、生徒たちへのグループインタビューが行われました。実は岡先生方は3年前の7月にも一度来島し調査研究をなさっておられます。

前回の結果の考察で岡先生は、「内外出身者の多様な生きざまや仕事に触れ、彼らの葛藤を自分のものとして、島と自分の未来を考える教育を学校教育—地域の社会教育をまたいで展開されることを期待したい。生徒の視野を広げさせたいという高校側の思いも、単に本土への視野にとどまらず、見ているようで見ていない島の現実への視野のひろがりとあわせて展開していくことが必要だろう。」と述べておられました。(社会教育紀要【小値賀町にみる、地域課題としての学校 一島の小中高一貫教育と、高校生へのヒヤリング調査から—】より)

事前に生徒たちには、前回と同様に進路意識についてのアンケートに記入をしてから、インタビューに臨んでもらいました。様子を見て私が感心したのは、初対面の大人に、自分の進路目標や未来について、臆することなくしっかり話している生徒たちの姿です。(私自身が高校1年生の頃はこんな風に話ができただろうかと思いました。)自分のことだけでなく、小値賀に対する思いも含め全員がそれぞれの言葉で説明しているのです。後日ある生徒にそのことを尋ねてみると、「自分としては、小値賀の人たちは皆優しく、また小学校の時から地域の人と関わる場面が多く、話しかけられて答えるということがよくあった。例えば中学校の時は、『北松西に行くのか?』というようなことから始めて、『進路はどうするの?』といった内容のことを気軽に聞かれていた。だから、初対面の大人の方でも同じような感覚で、気にすることなく普通に話せたのではないかと思う。」と答えてくれました。もしも生徒の印象通りならば、私が感心した生徒たちの対応力は小中高一貫教育のキャリア教育や地域の教育力の成果の一面と言えるのかもしれません。また、インタビューの後の懇談の中で、4名の先生方から、「今生徒たちは、小値賀の良さを再確認し小値賀の課題と未来を考える視点を持つようになってきているが、これからは小値賀に居ながらにして日本や世界の持続可能性を考えられるようになるのもっと良いのではないか。」といったことも指摘いただきました。

今後、2月にまた来島していただいて、本校職員を対象にした今回のインタビュー調査の分析結果報告会を予定しています。生徒たちがミライを切り開くための力を、私たち大人はどのような方向性を持ってサポートしそして、生徒たちの力を引き出せばいいのか、教職員も求めて学び続けたいと思います。最後に帰福後の岡先生から届いた文章の一部をご紹介します。「グループインタビューにて、若者たちの姿やことばに、あまりの変化がでていたことに一同大変驚きました。こういう発見をさせていただけること、研究者冥利に尽きると思いました。また、この3年間に至る歩みは小中高校それぞれ、そして教育委員会ぐるみでとりくんでこられたことであり、総力をあげて作りだしてこられたものだと思います。小値賀の方々には外の意見を常に求めていらっしゃると思いましたが、まさに指摘を全身で受け止めて、適切に改善の手をうち、前進する、みなさまのパワーを実感いたしました。」

12月の行事予定

日	曜	行事予定
1日	日	3年校外模試
2日	月	2年修学旅行(～6日)
14日	土	校外模試(1,2,3年)(3年～15日)
15日	日	吹奏楽部県アンサンブルコンテスト(諫早)
19日	木	3年卒業レポート発表会(町議場)
22日	日	バドミントン部佐世保地区学年別シングルス大会
24日	火	終業式
25日	水	冬季補習(～27日)



各種大会結果

—陸上部—

大会名：令和元年度(第71回)長崎県高等学校総合体育大会駅伝競走大会
 日時：令和元年11月6日(水)
 会場：小浜マラソンコース



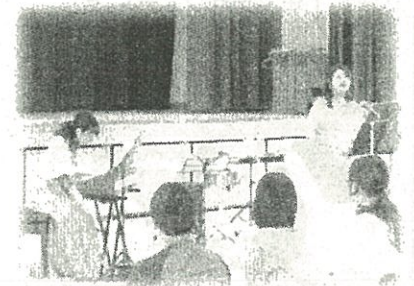
〈区間成績〉 総合成績：2時間37分13秒(第29位)

区間	距離	選手	区間順位	通算順位	記録
1区	10km	藤松 義匡	30位	30位	36分44秒
2区	3km	神川 陸	21位	27位	10分39秒
3区	8.1075km	山下 翔護	26位	24位	29分38秒
4区	8.0875km	守山 一徳	36位	30位	31分54秒
5区	3km	川本 健斗	28位	30位	11分20秒
6区	5km	小崎 結希	28位	29位	18分54秒
7区	5km	橋本 虎太郎	23位	29位	18分04秒

結果は42校中29位で、総合20位以内という目標を達成することができませんでした。2月に行われる県高校新人駅伝では、「今回のリベンジができるように、一人ひとりが1秒にこだわって練習をしていきたい」と選手が抱負を述べてくれました。応援ありがとうございました。

芸術鑑賞会

11月12日(火)、本校体育館で芸術鑑賞会「アウトリーチコンサート」が実施されました。出演者は県内外で活躍されている下条絵理子さん(ピアノ)、濱口知紗子さん(サクソフォン)、奥田智恵さん(マリンバ/パーカッション)、久野絵里さん(ソプラノ)で、プログラム中には吹奏楽部とのコラボやボディーパーカッション、会場全体で歌う場面などもあり、児童・生徒は優れた音楽を鑑賞するだけでなく体感することで、芸術・文化に対する興味・関心を深める良い機会となりました。



西高祭（第45回文化祭）

創の一步 ~新たな時代に刻む~

10月27日（日）、本校校舎及び体育館にて西高祭が開催されました。当日は、ステージ部門、校舎・展示部門が行われ、それぞれのクラスが趣向を凝らしたものを作り、盛り上がりました。準備等でも地域の皆様にご協力いただきました。また、多くの保護者・地域の皆様にご来校いただきまして、ありがとうございました。

文化祭実行委員長： 福崎 結衣

短い準備期間でうまくいくのか不安もありましたが、時代が平成から令和に変わって最初の西高祭実行委員長を務めさせていただき、大成功に終わることができて大変うれしく思っています。ステージ部門では、工夫を凝らした発表で会場の皆様と一緒に楽しむことができました。また校舎部門では、オークションやインスタ映えスポット、タピオカドリンクなど初めての試みばかりで大盛況でした。これは保護者の皆様、地域の皆様のご協力あってのことです。本当にありがとうございました。来年の創立70周年記念式典・記念文化祭に向けて生徒一同頑張りますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



1年 名探偵ユイナ

2年 Let's Dancing!

吹奏楽部



1年 令和ジェニック



2年 タピオカはじめました



3年 ジャパネットながた



カレー・クッキー販売



お茶席



生徒総会

11月14日（木）、後期生徒会執行部での生徒総会が実施されました。議題は要望事項の検討と創立70周年に向けて、各クラスから提案された中から中央委員会で検討された議題が提出され、制服の移行期間や創立70周年での行事や記念となる形に残るものなどについて熱心に討議されました。



第35回ふるさと産業まつり&ふれあい広場参加

11月17日（日）、2年生のフードデザイン選択者を中心とした生徒が本校の家庭クラブ活動をPRするために産業まつり&ふれあい広場に参加し、「はまごうクッキー」約300袋の配布を行いました。まつり後半には、クッキーをご試食された北村大臣から貴重なアドバイスをいただく機会がありました。それを受け「今後は自然にあるものを使った色付け方法を研究する必要がある」「今よりもっと良いものを作って地域の方々に喜んでもらいたい」と生徒は感想を述べており、今後の活動にいかすことのできる良い機会になりました。



English Day

11月19日（火）本校において、小中高一貫教育の一つとして、小値賀小学校5・6年生、小値賀中学校全校生徒、北松西高校全生徒を対象とした English Day が実施されました。今年度は、島内外の外国人12名の方々にお越しいただき、充実した時間となりました。

Who are you? Game、タスク達成型活動(The Olympics Game)を行い、小中高生混合チームで協力して取り組んでいました。



3βによるルール説明



Who are you? Game



The Olympics Game

編集後記 松のひとりごと・・・

今年も残すところあと1ヶ月となりました。やり残したことはありませんか？3年生は進路実現に向けて、2年生は修学旅行、1年生は次年度にむけて準備をしましょう。

